

法人名 横浜市

施設名 横浜市十日市場保育園

発表者名 (職名)	上平 溪 (保育士)
発表者名 (職名)	
発表者名 (職名)	

住所	横浜市緑区十日市場町1296		
TEL	045-981-6470	FAX	045-981-6525
メールアドレス	md-hoiku-toka@city.yokohama.lg.jp		
URL			
定員	122名	職員数	65名

発表の概要・内容

子どもたちは保育園生活を通して、様々なことに興味を持ち、挑戦してみたり、時には失敗したりを繰り返し、日々成長している。その中で私たち保育士は、一人ひとりの気持ちを受けとめて遊びの楽しさを共有し、個々の成長に合った環境設定をして生活や遊びを保障する役割がある。

十日市場保育園では「生きる喜びと力を持つ子ども」、「自分も人も大切に作る子ども」という園目標のもと、一人ひとりの姿に寄り添っていく保育を大切にしている。今回、4歳児クラスで取り組んだ、一人ひとりに合わせた環境設定の工夫(主にKくんへの援助方法)、さらに子どもの多様な育ちを受けとめていくインクルーシブ保育の実践を報告する。

実践内容

〈安心できる場所、人の保証〉

Kくんの育ちを支えていくために「保育園は楽しいところ」を1年のテーマにし、まずは、Kくんの様子をしっかりと観察し、好きな遊びをじっくり楽しめる環境を整えていく。(集中して遊べるようパーテーションを用意しKくんの遊びの保証、お気に入り玩具を入れたBOXを作り安定して過ごせる工夫)

また、安心して自己発揮できるよう、特定の保育士との関わりを深め、保育士と一緒に遊ぶ中で、楽しさを共有していくことを大切に保育を進めていく。物的環境、人的環境を初めに整えたことで、興味が少しずつ広がり、友だちへの興味から、様々な活動や行事へと広がっていった。

〈インクルーシブ保育の実践〉

Kくんのように支援の必要な児を取り巻く環境設定や、保育士との関わりを日々見ていくことで、他の子どもたちの中に自然に共感性が育まれ、仲間意識が高まり、行事にはより組み込んで参加して楽しみ、達成感を味わうことができた。

子どもたちにとって、保育園は初めて保護者と離れて過ごす集団生活の場である。その園生活の中で、遊びや食事、様々な活動(行事)等に個々のペースで取り組み、十分に認められ、安心できる保育士や友だちと楽しさを共有していくことは、自尊心への向上へとつながっていく。実際に4歳児クラスの取り組みの中でも、個々に合わせた保育を丁寧に進めていくことで、一人ひとりの人権が尊重され、自分だけでなく相手を大切に作る力が育まれ、身体だけではなく、心の面でも大きな成長が見られた。

これからも子どもたちの多様性を私たち保育士が尊重し、ともに成長し合える環境を整え、個々の育ちに目を向けた保育を大切にしていきたい。

メモ